

グループ討議でいただいた意見から主なものを紹介します

道の駅の建設について

意見①「初めは小さな規模でも良いから必要だと思う。その状況で判断する方法もあるのではないかな。」

意見②「駅前のお勝手屋『萌』をもっと支援して発展させ、整備された留萌駅の広場も有効活用しても良いのではないかな。」

意見③「市の財政状況や物販による商店街への影響を考慮した場合、現段階では必要ないと思う。」

子どもたちの環境について

意見①「子どもの人数や遊具の維持費を考えると、遊具の設置は高砂公園のような大きな公園にして、地区の公園は広場的な遊び場で良いと思う。」

意見②「子どもたちの環境や教育のために、少しでも早くプールを再開してほしい。」

意見③「スキーの器具の負担を軽減するために、使わなくなった器具を市や学校で預かり、リサイクルの取り組みを進めてはどうか。」

市立病院について

意見①「看護師も一生懸命やってくれて、最近の市立病院の状況は良いと思う。」

意見②「患者が気持ち良く通うことができるように、職員の対応も充実させてほしい。」

意見③「まだ安心して留萌で出産できる状況ではないので、ぜひ体制を充実してほしい。」

対話のあり方について

意見①「市民との対話を大切に、数多く懇談会が開催されており、非常に評価している。もらった意見を市の内部でしっかりと議論して、やるべきことを選択して実現してほしい。」

意見②「今回の懇談会のやり方は良いと思う。同じ委員会でも人を変えたり、若者や女性のように参加対象を絞ると、さまざまな意見が聞けて良いのではないかな。」

各委員会活動について

防災連絡員からの意見

「防災活動は実際に災害になった際の対応や連絡が課題なので、研修会や訓練を実施してほしい。」

民生児童委員からの意見

「個人情報の関係に過剰反応を示している感じが、活動に支障が出ている。我々も守秘義務を負っているので、そのことを広く周知する取り組みなど、市が中心となって活動しやすい環境づくりを進めてほしい。」

健康いきいきサポーターからの意見

「健康の駅の事業は素晴らしいが、交通の便が悪いので、公共交通機関を充実させてほしい。」

環境美化推進員からの意見

「壊れて補修できないクリーンステーションがあるので、毎年計画的に更新してほしい。」

市では、職員が地域に出向く「お茶の間トーク」も実施しています。お気軽にご利用ください。

市政懇談会・お茶の間トークに関するお問い合わせは

市・企画調整課 ☎42・1809

市ホームページ <http://www.e-rumoi.jp>

市政懇談会の結果を公表します

市政懇談会でいただいた意見を政策に反映していくために、その対応について市役所内部で十分な議論を重ねていきます。

また、この度の市政懇談会の結果につきましましては、市ホームページへの掲載や、2月5日に留萌消費者センターで開催する「第4回町内会活動情報交換会・交流会」での報告、2月上旬に各町内会への配布などによりお知らせします。

市政懇談会 留萌百年物語



市政懇談会の概要

先人が築いてきた「ふるさと留萌」に想いを馳せながら、市民の皆さんとともに未来を担う子どもたちに引き継ぐまちづくりを進めます。

市政懇談会は、市民の皆さんから多くの意見をいただき、対話を重ね、まちの将来のビジョンを共有していくために開催しています。

今回の市政懇談会は、「協働によるまちづくり」を進める中で、地域において活躍されている防災連絡員や民生児童委員、健康いきいきサポーター、環境美化推進員の皆さんにご参加いただき、開催しました。

最初に、情報提供として平成21年度決算状況、市立病院の診療体制、るもい健康の駅で実施しているパイロットステディについての説明のあと、5月に実施した市民アンケートでいただいた主な意見や、各委員会活動を通じた課題などについて10班に分かれて話し合いました。

グループ討議形式での市政懇談会は新たな試みでしたが、参加された皆さんから「大人数の懇談会ではなかなか発言できないが、グループ別なので発言しやすい」と好評で、活発な意見交換となりました。

ビジョンを共有してまちづくりを進めます

私たちの先人が、留萌港を築き、留萌駅を開駅したのが、今からちょうど100年前の明治43年でした。これからの50年後、100年後の留萌のために、今何をしなければいけないのか、皆さんとビジョンを共有しながらまちづくりを進めていかなければなりません。

行政の責任は、市民の皆さんの幸せの実現であります。

そのためには、これから貴重なご意見をいただき、そして、それをしつかりと議論し、行政に反映していきたいと思っています。

開催状況

◆日時 11月6日(土) 13:00～15:30
◆場所 留萌産業会館 2階ホール

◆参加状況

委員会名	参加人数
防災連絡員	26名
民生児童委員協議会	21名
健康いきいきサポーター	14名
環境美化推進員	28名
合計	89名